

電波新聞訴訟が和解



勝利和解による解決を喜ぶ原告と支援者ら（東京地裁前）

解決金、割増賃金盛る

パワハラ社長は退任

新聞労連・新聞通信合同ユニオン電波新聞支部の組合員2人が電波新聞社（東京都品川区）に時間外労働・休日出勤手当の支払いを求めた残業代請求訴訟は、12月15日、東京地裁で和解が成立した。和解条項には解決金の支払いのほか、パワハラ行為と取られる言動を一切しないこと、時間外労働、休日出勤に対する割増賃金の支払い、年内に三六協定を締結することが盛り込まれた。

和解協議が大詰めを迎えた12月1日、数々のパワハラ、違法行為を働いてきた平山哲雄氏（71）が代表取締役社長を退任、長男の平山勉氏（34）が代表取締役社長に就任した。6日付電波新聞の紙上で発表した。前社長の退任は「健康上の理由」とされているが、組合側がパワハラや違法行為の数々を追及してきたことが、早期の退任につながるとみられる。

11月17日の第4回和解協議で裁判所が提示した4項目を柱とする和解条項と解決金の上積みに対し、被告

の会社側が11月28日に同意を表明。



新春インタビュー

山中氏「安定雇用研究の鍵」

着した。和解を報じた共同通信社の配信記事によると『同社（電波新聞社）は「この件に関しては何も申し上げられない」としてはいるが、16年11月22日の提訴以来、1年余りを経て決

ない」としている」という。和解が成立した15日の夜には、本社前で社員に組合ニュースを配布。社員の中には「おめでどうございませう」と声をかける人もいた。平山哲雄氏の退任で、長く続いた苛烈なパワハラは一気に解決に向かうと思われる。組合としては今後、就業規則の整備など、和解条項に盛り込まれなかった項目について、従業員の地位向上と電波新聞の再生に向けて交渉にあたっていく。

【新聞通信合同ユニオン電波新聞支部・山本淳、川田茂生】

◇ 山本淳さんの話 合同ユニオン、新聞労連、今泉義竜弁護士、全国専門紙誌労働組合共闘会議など多くの方々の力強い支えにより、今回の勝利和解を勝ち取る

ことができてうれしく思う。早期の社長交代というオマケまで付いた。本当に大事なものはこれから。前社長体制下で植えつけられた誤った意識は数多い。従業員自らの手で、掛け違えられたボタンを自然に掛け直してもらえよう活動をしていきたい。

川田茂生さんの話 15年9月の突然の給与カット、自宅待機という苦しい状況でひたすら区切りがついたと考えている。パワハラ社長に引導を渡したのも組合の力が大きかったと思う。今後は新社長のもとでよりよい紙面づくりにまい進していきたい。

iPS細胞（人工多能性幹細胞）の研究で2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞した、京都大iPS細胞研究所（CiRA）所長の山中伸弥教授（55）が、新聞労連の新春インタビューに答えた。山中氏は、「労働者が安心して働けることによって効率も上がる」と述べ、研究の世界でも安定雇用が重要だとの認識を示した。

（2、3面に一問一答）

山中氏は、iPS細胞による治療の実用化に向けた研究を進めるため、多くの研究支援員が不可欠だが、大半を有期雇用でせざるを得ず、熟練者が企業などに移籍してしまう現状を説明。

期限のない雇用でできない理由として、国立大学の予算は省庁直轄の研究所に比べ組織を維持するための運営費交付金が少なく、大半を競争的資金に頼らざるを得ないため「雇用は数年単位でしか計画できない」と語った。

日本の科学報道については、「失敗に厳しい文化」があると指摘。これから臨床試験の段階に入り、例えばiPS細胞と直接関係ない問題が起きた時でも「iPS手術失敗」といった見出しが躍るなど研究全体が総崩れの印象を与えてしまうと「正確ではない」として、冷静な報道を期待した。

同性同士も事実婚適用

共同、道新 手当や祝い金支給

共同通信

共同通信社はこれまで異性に限定していた「事実婚」の認定を同性パートナーにも拡大する。結婚祝い金のほか、当該職員が転勤する際の単身赴任手当などを支給する。組合の要求に応じ、12月5日の団交で社側が明言した。配偶者向けの家族手当を廃止し、子ども向け手当を増額する制度改定と合わせて1月から適用する方針。組合は「多様性を認める意味で大きな一歩だ」（井手壮平委員長）と評価している。

共同通信の事実婚制度は同居を示す住民票謄本の提出などを条件に、法律上の婚姻関係がなくても通常の

め旅費も支給される。単身赴任となる場合は、別居手当が支給され、毎月1回の往復分交通費も出る。パートナーが海外に赴任する場合は、同行するため最長3年の休職も可能となる。パートナーに介護が必要となった場合の休業もできるほか、どちらかが死亡した場合の弔祭料も通常の夫婦と変わらない。

一般的に性的少数者（LGBT）の割合は人口の5〜8%といわれる。1600人を超す職員を抱える共同通信の場合は、1000人前後いてもおかしくない計算だが、公言している職員は知られていない。

組合は、こうした規定の見直し、少数者の抱えている生きづらさの解消に少しでもつながることを期待している。

北海道新聞

北海道新聞社は、LGBTの社員への福利厚生策として、家族手当の支給対象となる扶養家族の範疇（ち

ゆう）に「同性カップルのパートナー」を新たに加えた。2017年1月の育児・介護休業法の改正に合わせ、同月に規定を見直した。北海道新聞社は従来、結婚した社員だけでなく、内縁関係にある異性のパートナーがいる人にも家族手当を支給している。法改正に合わせてさらに対象を拡大。同性のパートナーがいる人も、婚姻関係にある人と同等であるとみなした。LGBTのカップルは、財産相続や税や社会保障上の優遇など婚姻と同じ権利は法的に認められていない。札幌市は17年6月、性の多様性を尊重することを目的に、同性愛と、性同一性障害の異性同士のカップルの関係を公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」を全国の政令指定都市で初めて導入。自治体として東京都渋谷区、世田谷区などに続いて6例目となったが、法律上の効力はない。

【北海道新聞労組・中務航志】

新聞労働連

発行日 2018年1月1日

日本新聞労働組合連合
東京都文京区本郷2丁目17-17 井門本郷ビル6階
電話 03(5842)2201
FAX 03(5842)2250
ホームページ http://www.shinbunoren.or.jp/
アドレス shinbunoren.or.jp/
（年間購読送料共2000円）
（組合員の購読料は組合費に含めて徴収しています）

公 示

2017年12月13日
日本新聞労働組合連合 中央執行委員長 小林 基秀
規約第20条により第131回臨時大会を次の通り招集します。
日時 2018年1月23日（火）午後1時〜24日（水）午後2時
会場 東京・台東区 台東区民会館9階ホール
議題 ①労連役員体制②本部報告③2017年末闘争実績総括④2018春闘方針⑤産別スト権および中闘委設置⑥その他

称賛が酷評 極端な報道

2面から続き

できます。ノーベル賞もそうだと思います」

——山中先生は今も米國を行き来していますね。

「毎月行っています。やはりそうやってコネクション、つながりを作るとするのは本当に大切です」

——日本の科学報道にはいろんな批判があります。



率直な意見をお聞きして、今後の参考にしたい。

「iPS細胞に関しては、もう10年以上ずっと同じ方が取材されている場合も多いですから、共に学んでいるという感じです」

——10年以上同じ人という、全国紙の科学記者ですか。

「そうですね。あと、NHKであったり」

なっている感じはあったのですか。

「私たちは、ファーストオーサー(筆頭著者)は全然知らなかったのですが、他のオーサーは非常に仲の良い、よく知っている……」

——(理化学研究所の故)笹井芳樹先生。

「笹井先生を含め、たくさんの方が、本当によく知っている先生ばかりで、彼らが共著者だったら間違いないだろうと。そういう印象は持ちました」

失敗に厳しい文化 研究の逆風にも

——京都新聞は京大があることもあり、しっかりした科学記者を置いていますが、多くの地方新聞は……

と科学担当というのは難しい。知識がなさ過ぎて何を聞いているんだという記者もいますか。

「普段はそうでもないです。事件が起こったとき、日本のメディアの方、日本の国全体が、わりと失敗に対して厳しい国だと思います。iPS細胞もそう」

——(札幌医大で1968年に行われた)和田移植?

「はい。非常に大きな問題だったのですが、だからといって何十年も遅れる必要があったのかと思います。日本の文化というか、新しいことをやる上でうまく行かなかった時に、本来そういう障害をまた乗り越えて前に進める可能性が十分あるものが、そこでストップしてしまつ可能性があ

る」

——山中先生は以前、京都新聞の取材に、日本の科学報道は「素晴らしい」「か」「とてもない」のどちらでもない、極端だという趣旨の話をされていた。それに通じるのですか。

「それもありませんね」

——日本報道検証機構の楊井人文代表理事がSTAP細胞報道当時の2014年2月、「STAP細胞とiPS細胞の比較報道は誤り」と指摘しています。具体的に「iPS細胞はがん化リスクがある。作製効率も悪い」といった内容は事実ではないと。これはiPS細胞が初めて作られた06年当時の課題であり、14年の段階では既に解消、改善されていたと。山中先生は当時の報道に関して非常にショックだったと話しています。

「あの報道はちょっと異様でしたから、どうして、そういう形になってしまったのかっていうのが、ほんと不思議ですよ」

——あの誤った報道は、社2社じゃなくて、全国紙など鍛えられている科学記者も多い中で各社が同じように間違えたとなると、そういう(ミスリードする)発表がされたのではと推測します。記者にそれを見抜くことはできるのでしょうか。

「当時、僕たちとしてはどうしてこういう報道になるのかというのが不思議で仕方がありませんでした。それに対して私たちに何ができるかとなると、冷静に事実をちゃんと発表していくしかないと思う」と

——当時、山中先生はSTAPに関して、最初からこれはちょっとおかしい

1番組なども取り上げていました。それぐらいインパクトがあったのでしょうか。

「私たちは、ファーストオーサー(筆頭著者)は全然知らなかったのですが、他のオーサーは非常に仲の良い、よく知っている……」

——(理化学研究所の故)笹井芳樹先生。

「笹井先生を含め、たくさんの方が、本当によく知っている先生ばかりで、彼らが共著者だったら間違いないだろうと。そういう印象は持ちました」

——ただ、山中先生は当時、STAPに関して相当慎重なコメントをしている。



「ええ。幹細胞の分野は再現性が重要です。過去に何度も他のラボでは再現できないということを繰り返してきていますので、きつと再現性を見ていかないとダメだというのは当然、第一印象です」

——STAP研究と関係ない話、例えばかっぱ着で実験しているところに注目した報道も多かった。個人的には、かっぱ着は白衣より脱ぎにくいので、薬品が付いて引火したら危ないじゃないかと思っていま

「通常取材されている科学部じゃない、バラエティ

対等な広報 プレス発表内容に意見

——広報の方が山中先生にダメだしされるっていうのは、研究発表のレベルでもされるわけですか。

「私たちは多くの成果が出るときにプレス発表をしていますから、その内容です。研究者も作成しますが広報がしっかりと見ます。そこで何か、ホープ(期待)とハイプ(誇大宣伝)というんですが、期待を煽るようなことになっていないか、できもしないことを大げさになつていないかという点について確認をします。両方ともよくないの」

繰り返しになりますが、どうしてこんな報道になつてくるのか、報道に対して、広報も含めてこういうふうなやり方、決まっていますか。

「僕たちが大切に行っているのは、セルフチェックがかかるかどうか。うちは研究所独自の広報を持っています。インタビューに

——STAPの発表時、報道機関は内容がおいしいという疑念をはさめませんでしたか、こうすれば慎重な報道はできたよというアドバイスはありますか。

「あれだけ全社が同じような報道になったわけですから、何かそういう雰囲気があったのかも知れませんが、自分もその場にいたらどうなつたか分からないです」

——あの問題も含めて、CiRAの報道対応と、先

生自身もそうですけど、そういう体制の見直しとか、報道に対して、広報も含めてこういうふうなやり方、決まっていますか。

「僕たちが大切に行っているのは、セルフチェックがかかるかどうか。うちは研究所独自の広報を持っています。インタビューに

「あれだけ全社が同じような報道になったわけですから、何かそういう雰囲気があったのかも知れませんが、自分もその場にいたらどうなつたか分からないです」

——あの問題も含めて、CiRAの報道対応と、先

あり得るわけですね。

「再生医療は外科手術です。外科手術は麻酔から始まり、感染症であったり、その手術の出血であったり、非常に高いリスクがあります。どんな再生医療でもそうですが、外から細胞を入れるということも、その細胞そのもののリスクもある。何か有害事象が起こったときに、どの段階で起こったのかというところをはっきりさせる必要があります。例えば手術後に免疫抑制剤を使う場合があるとありますが、その免疫

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

インタビューで山中さんは、決して誰かを非難したわけではないという言葉遣いをしなかった。「STAP騒動」時の報道には、はらわたが煮えくり返る思いもあったと想像するが、慎重に言葉を選んで、報道に求めていることを話してくれ

た。iPS細胞による治療を心待ちにする患者さんたちの期待に応えるため、研究スタッフの雇用を含む研究費を確保することは山中さんにとって最大の課題であり、そのためには社会の理解が必要であり、それゆえに報道の重要性も認識してくれていると感じた。

つたとなつた時に、報道のやり方によっては「iPS手術失敗」とか、間違いないかもしれないですけれど、決して正確ではない見出しになりかねないですよね。でも、どこがダメだったのかということが(重要。また、iPS細胞も網膜とか脳とか、心臓とか全身ありとあらゆるアプリケーション(応用)があつて全部違う治療です。どれかひとつのアプリケーションで、何か問題があつた時に、じゃあ他も全部、もう総崩れという報道は正確ではないと思います。アプリケーションによって全然リスクも違つてきますので」

「臨床試験の間は、まず安全性を見ます。まずは移植する細胞の量を少なく、しかもかなり症状が進んでしまつた人等で安全性だけを見る。だから効果はまったく期待していない。でもその段階で、もう効果が無いからダメだつていう、そういう報道になつてしまつと、それも正しくないです。そのあたりが、これらが本当」にいろんな意味で本番だなど思います」



——その体制は、どこにあるものを学んだのか、山中先生がここで独自に作られたんですか。

「(今も上席研究員を務める米サンフランシスコの)グラッドストーン研究所を組織作りの1つのお手本にしています。グラッドストーンも独自の広報を持っていますし、広報の人は広報のプロとしての誇りがあります」

「臨床試験の間は、まず安全性を見ます。まずは移植する細胞の量を少なく、しかもかなり症状が進んでしまつた人等で安全性だけを見る。だから効果はまったく期待していない。でもその段階で、もう効果が無いからダメだつていう、そういう報道になつてしまつと、それも正しくないです。そのあたりが、これらが本当」にいろんな意味で本番だなど思います」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

インタビューで山中さんは、決して誰かを非難したわけではないという言葉遣いをしなかった。「STAP騒動」時の報道には、はらわたが煮えくり返る思いもあったと想像するが、慎重に言葉を選んで、報道に求めていることを話してくれ

た。iPS細胞による治療を心待ちにする患者さんたちの期待に応えるため、研究スタッフの雇用を含む研究費を確保することは山中さんにとって最大の課題であり、そのためには社会の理解が必要であり、それゆえに報道の重要性も認識してくれていると感じた。

「臨床試験の間は、まず安全性を見ます。まずは移植する細胞の量を少なく、しかもかなり症状が進んでしまつた人等で安全性だけを見る。だから効果はまったく期待していない。でもその段階で、もう効果が無いからダメだつていう、そういう報道になつてしまつと、それも正しくないです。そのあたりが、これらが本当」にいろんな意味で本番だなど思います」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

インタビューで山中さんは、決して誰かを非難したわけではないという言葉遣いをしなかった。「STAP騒動」時の報道には、はらわたが煮えくり返る思いもあったと想像するが、慎重に言葉を選んで、報道に求めていることを話してくれ

た。iPS細胞による治療を心待ちにする患者さんたちの期待に応えるため、研究スタッフの雇用を含む研究費を確保することは山中さんにとって最大の課題であり、そのためには社会の理解が必要であり、それゆえに報道の重要性も認識してくれていると感じた。

「臨床試験の間は、まず安全性を見ます。まずは移植する細胞の量を少なく、しかもかなり症状が進んでしまつた人等で安全性だけを見る。だから効果はまったく期待していない。でもその段階で、もう効果が無いからダメだつていう、そういう報道になつてしまつと、それも正しくないです。そのあたりが、これらが本当」にいろんな意味で本番だなど思います」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に、免疫抑制剤の副作用で患者さんに有害事象が起こります」

抑制剤の副作用なんかも十分可能性があります。その臨床試験で手術した場合に

「働き方」意識改革を

日放労、電通労組と鼎談



メディア産業の働き方問題について議論が交わされた鼎談。（右から塩見研吾電通労組前書記長、鈴木章太広告労協議長、中村正敏日放労委員長

三六協定締結の責任痛感

新聞労連は12月6～7日の2日間、東京都内で「2018春闘対策会議」を開催した。初日には「働き方改革と新聞産業」をテーマに、日本放送労働組合（日放労）、電通労組および広告労協の役員3者による鼎談（ていだん）を行った。この中で過労死を二度と出さないために「働き方改革」には私たち労働組合側も含め意識改革が必要だとの認識で一致した。全国の参加者からも活発な質疑が行われた。

2018春闘対策会議

パネリストとして参加したのは、広告労協議長の鈴木章太氏（電通労組中執）、電通労組前書記長の塩見研吾氏（同）、日放労委員長の中村正敏氏の3氏。コーディネーターは小林基秀新聞労連委員長。15年12月、電通の女性新人社員が過労自殺し、16年9月に三田労働基準監督署から労災認定を受け、17年10月に労働基準法違反で電通に対する罰金刑が確定している。鈴木氏は「現場に仕事をあふ上で、マネジメントの観点からしっかりと管理すること。広告労協と

しては毎週、常任幹事による定例会議で意識を高めるべく意思統一を図っている。学生向けの就職フォーラムでは今年から、契約社労士から広告業界の労働環境、休暇制度について説明し、アンケート結果ではそれを聞いて安心した、この声もあったと事例を紹介。塩見氏は「経営的な目線で言ってしまうところを、一步引いて組合員の立場で言おう。この視点だけは忘れないようにしよう」と2年

の対応を報告した中村氏は「三六協定に判を押している責任があつて、それはひしひしと感じる。過労死という行政処分、重みを我々は受け止め切れていなかった。本人から訴えがあれば組合は会社と闘うことができる。さんの念を持ちながらも、困っている人たちに『助けてくれ』と言ってもらえる存在になれるか」などと語った。

いた。6つを盛り込んだ。ほかには労働条件・労働環境の改善や、新聞産業を強化する取り組みを掲げた。またこれらの戦術を最大限に生かすため、各単組の交渉結果や内容などさらなる情報の提供や共有を呼びかけた。

連と東京地連は12月8日、こうした雇止めへの対処法を学ぶ学習会を文京区内で開催した。約30人が参加し、大学の雇止めを阻止してきた首都圏大学非常勤講師組合の志田昇書記長の話を聞いた。

春闘方針案に新機軸

中執、20年大会前倒し議論

第2回中央執行委員会が12月7～8日に東京都内で開かれた。18春闘方針案のほか、東京五輪と時期が重なる20年定期大会の前倒し開催案について議論した。

賃上げ要求は新たな試みとして、各単組によって多様であることに対応し「定期昇給制度を維持し、定昇の切り下げ、凍結を認めない

2018年4月から始まる有期労働契約労働者の無期転換申込み権を前に、会社が無期転換を回避するため、5年に満たない有期契約労働者を雇止めることが懸念されている。新聞労

特に早稲田大学との交渉で、過半数代表選挙から非常勤講師を排除したことを問題にして東京地検に刑事告発・告訴したほか、違法な労働条件について労基署に告発するなど様々な手段を駆使。組合員を増やし交渉力を高めることで、最終的に大学側との和解につながった。

全下野労組が40周年

集いにOBら仲間たち50人

争議などを振り返る

全下野新聞労働組合は12月10日、結成40周年を祝う記念の集いを宇都宮市内のホテルで開き、組合の歴史をつむいできたOBと現役組合員ら約50人が積年の重みをかみしめ、交流を深めた。

7年10月9日に結成された。40年間、幾多の闘争や労働争議など困難を経験しながら、現場で働く組合員の労働環境の改善、権利獲得、ジャーナリズムの追求に力を注いできた。

新聞印刷センター労組や新聞労連、全毎連、東北地連、宇都宮地区労などの代表者もお祝いに駆けつけた。臼井義隆委員長は「全下野新聞労働組合は下野新聞がある限り、未来に向けて終わりなき旅を続ける」と力強く宣言した。

新聞労連の相川和男書記長は、新旧の組合員が料理とお酒を囲みながら立場を超



結成40年を祝い駆け付けた全下野労組と全国の仲間

えて和やかなひと時を過ごした。組合創設に尽力した初代委員長の早乙女哲さんも壇上に立ち、組合結成時の志や苦難を振り返り、組合のこれからにエールを送った。アトラクションとして、「カクテルの街宇都宮」にちなんだフレイバーテンドリングのショーが披露され、鮮やかなジャグリングに会場が沸いた。最後は組合の未来に向け、参加者全員が力強い「がんばろう三唱」で決意を新たにしました。

すべての争議勝利を

日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）は12月1日、争議支援の「望年パーティ」を東京・文京区民センターで開いた。新聞労連などMIC加盟単組から約180名が参加した。交流を深めながら、すべての争議勝利を誓った。



各産別の争議団が支援を訴えたMIC望年パーティ

【東京地連委員長・山村学】述べた。

【東京地連委員長・山村学】述べた。

新研部長会議に50人

第41回全国新研部長会議が12月10日、東京都千代田区の「主婦会館プラザエフ」で開かれ、全国の組合・地連や在京新研部から約50人が参加した。前半は、活用」をテーマに講演し、後半は各組合が活動報告を行った。

新谷氏は、デジタル上でジャーナリズムをビジネスとして成り立たせるためには、読者からの信頼に基づく「看板の力」を磨くことが重要だと指摘。「あらゆる権力や組織から等距離」に位置し、リスクを恐れずスクープにこだわる姿勢を持つことが、結果としてメ

ディアとしてのブランドを維持することになると述べた。取材の手法から記者の働き方まで、会場からも多くの質問があり、関心の高さを伺わせた。

活動報告では、各組合の参加者が独自の取り組みや興味のあるテーマを紹介。「取材技術を同僚から学び合う勉強会を定期的に開いている」「琉球新報」といった報告の一方で、新研部としての活動になかなか手が回らないとの声もあった。今後の活動テーマとして

は、働き方改革や2020年東京五輪に関心を寄せているとの意見が多く聞かれた。機関紙連載の執筆分担や次回新研集会のテーマについても話し合い、今後に向けた認識を共有した。【共同通信労組・黒崎正也】

タレコミ増え好循環

週刊文春編集長語る

あらゆるメディアがデジタル分野での展開を模索する中、新谷氏はまずデジタル世界の特徴として「新聞もテレビも雑誌も、情報はすべてフラット化される」と指摘した。人々はスマー

トフォンで必ずしもニュースを読むとは限らない。消費者の限られた時間や資金を取り合うという点では、ゲームやSNSもライバルとなる。

一方で「数字だけを取るために迎合する判断が良いのか」と言え、これもまた「私の中で『かくあるべき』という文春のブランドを、きちんと正しく世の中に伝えられるような記事の作り方をしている」と述べた。

TV動画使用に10万円課金

新谷氏は、ヤフーやLINE、ドワンゴなどのIT大手と連携しながら週刊文春が進めているデジタルでの課金モデルも紹介した。ヤフーとは試験的に、週刊文春の記事をばら売りして1本100円で販売する事業を始めている。

またベッキーさんを巡るスクープをきっかけに、テレビに対しては記事使用料も設定。当初は「記事1本1回使用で3万円、動画の場合は5万円」だったが、その後記事は5万円、動画は10万円に値上げ。週によってばらつきはあるが、収益源の1つになりつつあるという。

一方で新谷氏は、コンテンツを生み出すメディアに比べて、拡散させる「プラットフォーム」の側がこれまで力を持ちすぎた」と指摘。

メディア側が無料でコン

新聞記者に育ててもらった

1989年に入社し、95年に「週刊文春」に移った新谷氏。現場では新聞記者から取材の基本を教わり「本当に育ててもらった。編集長としてそれなりに仕事が出来ているのも、本当に新聞記者の先輩方のおかげ」だという。

そんな新谷氏に、現在の新聞業界はどのように映っているのか。「新聞が親安倍(首相)と反安倍(別れ、旧態依然とした古い歌をそれぞれの陣営が同じメンバー

1で歌い続けているようだ」と形容した上で「不健全な状況だ」とした。

また「リスク回避」の傾向も目立つとして「危うきに近づくなければディープを送った。

激務も異動希望 心の病ゼロ

新谷氏は週刊文春の「働き方」にも触れた。「60人近くの部員がいるが、人事面談の時に『週刊文春は辛いから出してほしい』という人が一人もいない」。6年

は、「仕事の意味を理解し

そこで重要となるのは「何が売れるか、売れない

「売れる・売れない」感覚養う

かということに関する感性」であり、この点において「新聞の方々には少しハندیキャップがある」という。週ごとに激しく売り

親しき仲にもスキヤンダル

デジタル世界でメディアが生き残るために必要なこととして、新谷氏が繰り返したのが「看板の力」、「ブランド力」の構築だ。『文春の記事だから事実だろう。これはガチだな』『面白いに決まっている』というブランドイメージをしっかりと築いて、『だからお金を払おう』と読者に思っていた

そのために重視するのが「あらゆる権力やあらゆる組織から等距離、と真ん中にいること」だという。現場の記者にいつも言っている言葉は「親しき仲にもスキヤンダル。どんなに仲の良い取材先であっても、書くべき時には書く。そういう姿勢を堅持することが『週刊文春のブランドを磨くことにつながる』と述べた。

「売れる・売れない」の肌感覚を養うことが重要だった。

「売れる・売れない」の肌感覚を養うことが重要だった。

「売れる・売れない」の肌感覚を養うことが重要だった。

「売れる・売れない」の肌感覚を養うことが重要だった。

「売れる・売れない」の肌感覚を養うことが重要だった。



全国から約50人が参加した新研部長会議

「週刊文春」の新谷学編集長は12月10日の新聞研究部長会議で「スクープ記事とSNSの活用」をテーマに講演した。デジタル分野でのさまざまな取り組みに触れながら、メディアがデジタル時代で生き残るには「自分たちにしか出せない記事」を追求し、「ブランド力」を高める必要があると訴えた。

街の歴史が映画の舞台(呉市)



ています。

「仁義なき」のオープニングは広島県呉市の闇市。はぐれものが織りなす裏切りと愛憎の暴力絵巻は、呉市と広島市で展開されます。この二つの都市を舞台にしたアニメ映画「この世界の片隅に」が2016年11月の公開以来、ロングランを続けています。広島から呉に嫁入りした娘の平凡な日々が、空襲や原爆で変質する様子を描いた佳作です。

広島会議で “待っとなるけえのう”

中国地連委員長 石川昌義 (中国新聞労組)

「仁義なき」のオープニングは広島県呉市の闇市。はぐれものが織りなす裏切りと愛憎の暴力絵巻は、呉市と広島市で展開されます。この二つの都市を舞台にしたアニメ映画「この世界の片隅に」が2016年11月の公開以来、ロングランを続けています。広島から呉に嫁入りした娘の平凡な日々が、空襲や原爆で変質する様子を描いた佳作です。

街の歴史を知ると、さらに味わいを増すのが、この両作品。5月公開予定の東映の暴力大作「孤狼の血」の舞台も呉市です。1月の新幹線拡大16者共闘広島会議では、呉市の視察も予定しています。ご参加、待っとなるけえのう。

就職フォーラム 東京と大阪で開催

東京

職場の働き方改革言及



記者の話を熱心に聞く参加した学生たち（12月10日東京）

報道記者を目指す学生を対象とする新聞労連主催の「新聞業界就職フォーラム」が12月10日、東京・飯田橋で開催された。

フォーラムの開催は今回で15回目。前年よりも9人多い73人の学生が全国から集まった。午前に「全国紙・通信社セセッション」、午後「ブロック紙・地方紙・スポーツ紙セセッション」がそれぞれ行われ、各社の現役記者がパネルディスカッション形式で講演した。また、今回はNHKの記者も初めて特別出演し、午前中のセッションに加わった。

小林基秀新聞労連委員長は、今回のフォーラムが、新聞業界の働き方改革について、学生に語りかける機会になると話した。

「新聞業界の働き方改革」に関する話題も多く、ある地方紙記者は「職場環境を良くしていく努力がさらに必要。労働組合もそのツールの一つ」と話した。

記者によるセッションの後、2018年入社予定の内定者8人が登壇。自身の就職活動について語った。

作文ゼミの「先輩」となる内定者の話を、時に笑顔、

時には真剣な表情を見せ、熱心に聞き入る姿が見られた。

大阪

営業、スポーツ紙も紹介



編集以外からも加わり職場実態を語ったパネル討論(12月2日大阪)

16年夏から記者を志し、今回参加した私立大男子学生は、「会社主催の説明会では語られることのない、新聞業界の本質を様々な面から知ることが出来た」と話した。

地方紙記者を目指すという私立大女子学生は、「地方紙の話は東京ではなかなか聞けない。記者になりたい気持ちがより強まった」と、充実した表情で語った。

新聞労連本部と近畿地連は12月2日、大阪市中央区の大阪府立労働センター会議室で「新聞業界就職フォーラムin大阪」を開催、学生55人が参加した。

大阪でのフォーラムは2007年2月から毎年実施しており、今回で12回目。記者職だけでなく、営業の職場の紹介や、スポーツ紙の紹介もあり、広く新聞産業の魅力を伝えている。

昨年大阪のフォーラムに参加して、実際に営業職の内定を勝ち取った学生もいる。

フォーラムには、一般紙編集職場6人、営業職場4

人、スポーツ紙4人の計14人が、4つのパネルディスカッションに登壇。また今回は初の試みとして、日放の協力を得て初めてNHKのディレクターも登壇した。

パネリストは、仕事のあり方の様子、仕事のやりがいなどに加え、今までで一番辛かったこと、休みが取れているかどうか、休日の過ごし方、など企業の説明会では聞かれない部分も赤裸々に発言した。

また、NHK大阪報道部ディレクターの新井直之さんは、記者職とディレクター職の違いなどにも触れ、映像と紙という媒体の違いによる働き方の違いにも触れた。

4回それぞれのパネルディスカッションの後には、これまで熱心な議論が続いた。フォーラムで新聞産業への就職の熱意をさらに高めた学生約40人を対象に、就職試験向けの作文ゼミを1月から実施する予定。

過労死公表で対策加速

日放労委員長と対談



新聞労連の小林基秀委員長とNHKの労働組合である日本放送労働組合（日放労）の中村正敏委員長は12月15日、恒例の新春対談を新聞労連書記局で行った。

NHKの佐戸末和記者（31）が4年前に過労死した後の再発防止の取り組みについて中村氏は「過労死を公表したことが2カ月間の方が、

産別同士の連携強化を確認する中村正敏日放労委員長（右）と小林基秀新聞労連委員長

それまでの4年間に比べ局内の雰囲気が高まっていると感ずる」と述べ、結果的に公表が改革の背中を押したとの認識を示した。

中村氏は、佐戸さんの遺族が当初から選挙報道などの長時間労働が「因ではないかと主張していたこともあり、日放労は再発防止策を協会側に提起してきたとした上で「4年前に組合がやるべきだと主張したことを、今は協会側が主導して進めている。その時に交渉でより力を尽くして実現していればという思いもある」と語った。

また、良い番組をつくるために労力を惜しまない土壌が浸透してきたが「選挙速報の『当確』を一分一秒早めるためにかける労力だったのか、というご遺族の問いは現場でも議論していかねばならない」として、意識改革が必要だとの認識を示した。

小林委員長は、電通の新入社員が過労自殺した件も含め「今回の件とは関係ないが、若手は複数の上司から別々の業務を命じられ業務過多になることがある。若手への目配りは必要」と述べた。中村氏はまた、日放労単体で長時間労働解消を訴えていくには限界があるとして「欧州では産別の労使協定もある。（共通の）産別は無理としても（新聞労連など）頻繁に意見交換していききたいと述べた。小林委員長も「日放労とも可能な限り連携していきたい」と応じた。

支払い義務を主張

山陽労組 当時の労担を証人申請

山陽新聞労組が賃金を15%カットする賃金制度改定に合意した際の一時金の年間8か月支給の約束反故と、県労委あつせんへの会社側出席拒否の不当労働行為の救済を訴えている申立事件は、再審となる中央労働委員会での調査が12月11日に、また新件として追加申し立てした2016年夏冬一時金の約束違反の岡山県労委での調査が11月30日に、それぞれ行われた。

会社側は、最終的に団交で交わした覚書に「一時金支払いの記述はなく、信義則

上の支払い義務もないと主張。組合側は、信義則上の義務は17年6月の県労委命令でも認められた通り存在し、さらに会社の経営状況が明らかに「予想を超えて儲かっている」状況にあることを今後、立証するとして、

さらに中労委では、これらの立証のために藤井正人書記長と、川端英男労働（当時）を証人として採用するよう申請した。次回調査は中労委が3月8日、県労委は同29日の予定。

原寿雄さん逝く

専修大教授（元新聞労連委員長） 藤森研



真IIが、2017年11月30日、神奈川県のご自宅近くで倒れ、胸部大動脈けう破裂で亡くなった。92歳だった。

1950年代、営生事件の共同通信取材班の一員として、警官による謀略事件の戦後ジャーナリズムの導き手だった原寿雄さんII写

国会デモの先頭に立った。63、68年、メディアの編集過程を内側から人々に知らせる「デスク日記」を筆名で『みずす』に連載。果敢な試みは反響を呼んだ。

共同通信編集局長などを経てOBになつてからも、旺盛に発言を続けた。官庁情報などに依存する「発表ジャーナリズム」を鋭く批判し、「ジャーナリストは国籍を超えよ」と説いた。「権力の監視と社会正義の

追求がジャーナリズムの役割だ」という信念は、揺らぐことがなかった。94年には新聞労連が立ち上げたJTCの校長になつてもらった。

20年余、私的勉強会「原塾」で薫陶を受けたが、メディアの課題を「私ならどうするか」と常に実践的に考え、生涯「ジャーナリストとして、自分を決して「先生」とは呼ばせなかつた。